

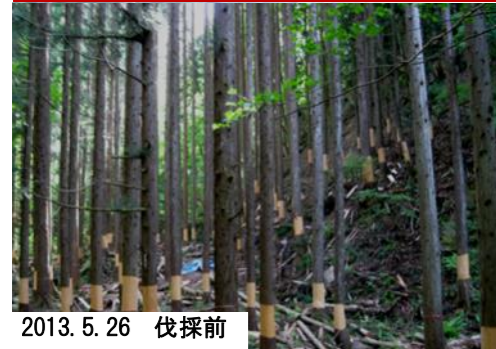


# トラストだより



## 進む人工林の除去

戸倉トラスト地「わたなべ自然保護区」(兵庫県宍粟市)



2013.5.26 伐採前



2015.11.29 チェンソー皆伐終了

### 自然林化をめざし、スギの人工林の皆伐を実施

戸倉トラスト地は、総面積120haのうち9割が原生的な自然林ですが、約12haはかつて植林された60年生のスギの人工林が沢沿いに残っています。ここを自然林に戻していこうと2011年から人工林の皆伐を始めました。

### 一刻も早く人工林の除去を進めたい

2014年、前年に皮むき間伐を実施した場所で、チェンソーによる皆伐を開始。60年生のスギは幹が太く、大量の伐採木が地面を覆ってしまいました。

### 林内作業車を使った伐採木搬出に挑戦

戸倉トラスト地は、地元集落の水源となっており、道をつけてトラックで木を搬出しようとする、生活用水である川を濁してしまいます。そのため、小型の林内作業車を使った伐採木搬出に挑戦し、約40本(50m<sup>3</sup>)のスギを搬出することができました。

このスギの伐採・搬出には波賀町の幸福重信さん、千種町の藤原誠さん、そしてお二人にご紹介いただいた地元の業者さんやボランティアの方々など、多くの皆さんにご協力いただきました。

### 最後のスギを伐倒

2015年11月21日、ついに最後のスギを伐採し、この場所での伐倒自体は終了しました。まだ搬出できていない伐採木が地面に残っているので、来年も搬出作業を続けます。今後は、森に光が入り、自然植生が回復する様子を、みんなで楽しく観察していきたいと思えます。

今回皆伐した場所より奥の人工林については森林組合に頼んで、切り捨て間伐による自然林化をめざすことを検討しています。



2015.10.22 林内作業車に伐採木を釣り上げ運搬



2015.11.21 実生の裏スギ切り口110cm



静岡県浜松市佐久間トラスト地 (2014.10.30 撮影)

## NPO法人からトラスト地の引き継ぎ完了!

理事長 室谷 悠子

新年あけましておめでとうございます。今年も変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。  
平成27年9月8日、NPO法人奥山保全トラストが所有していた全国12か所、合計1944ヘクタール(588万坪・甲子園球場486個分)全てのトラスト地の引き継ぎが完了しました。

これらのトラスト地は、自然豊かな森を開発から守り、野生動植物の聖域として、また、全ての生命を支える水源の森として残したいと願う、たくさんの皆様のご寄付とご尽力により買い取ることができたものです。今後は公益財団法人奥山保全トラストが、しっかり保全していきます。

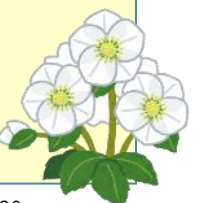
何百年、ときには千年を超える歳月を経て形成された豊かな巨木の森も、ひとたび開発されれば一瞬で消えてしまいます。一度、破壊された森を元に戻すには、果てしない時間がかかることを私たちは知っています。だからこそ、今、わずかに残された奥山水源域の森を、開発される前にナショナル・トラストにより守ることが重要なのです。

今後は、新しいトラスト地の取得を考えて候補地を探しています。

### 公益財団法人奥山保全トラストへの寄附口座

～土地取得・トラスト地管理資金等にご協力ください～

・ゆうちょ銀行振替口座 00920-4-305993  
(口座名) 公益財団法人 奥山保全トラスト



## (公財)奥山保全トラストのトラスト地一覧



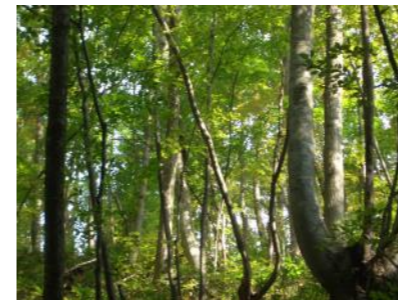
① 富山県魚津市島尻  
2ha(6,050坪)  
2006年取得

苗木畑用の土地として取得。



④ 静岡県浜松市佐久間町  
294ha(889,350坪)  
2006年取得

約6割が人工林のため、現在、自然林化を大規模に進めている。天竜川の源流。



⑦ 福島県会津若松市  
10ha(30,250坪)  
2007年取得

栗園2haを含む自然林。阿賀川の源流。



⑩ 宮崎県高千穂町  
1.85ha(5,600坪)  
2009年取得

人工林の皆伐跡地に広葉樹を植樹。天然更新も進んでいる。



② 兵庫県宍粟市波賀町戸倉  
120ha(363,000坪)  
2006年取得

上方は、ブナやミズナラの巨木の溪畔林。揖保川の源流。



⑤ 京都府京都市京北  
16ha(48,400坪)  
2006年取得

イヌブナ・ウラジロガシ・ツガなどの中間温帯の自然林が残っている。人工林部分は間伐中。



⑧ 京都府京都市花脊  
50ha(151,250坪)  
2007年取得

ヒバ・アシュウスギ・ミズナラなどの巨木の天然林で、大変貴重。



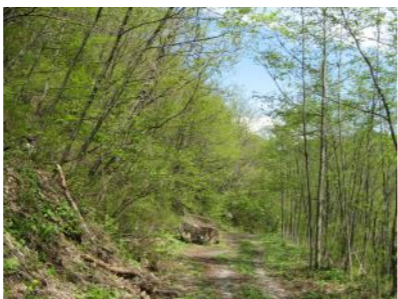
⑪ 三重県大台町父ヶ谷  
吉野熊野国立公園内  
268ha(810,700坪)  
2010年取得

パルプ用に昔一度皆伐して、放置。豊かな天然林に戻りつつある。



③ 富山県上市町千石  
670ha(2,026,750坪)  
2006年取得

立山杉の巨木が混ざる原生林。上市川の源流。



⑥ 岐阜県高山市  
奥飛騨温泉郷  
中部山岳国立公園内  
82ha(248,050坪)  
2006年取得

亜高山性の豊かな植生が保たれた天然林。神通川の源流。



⑨ 石川県白山市白峰  
白山国立公園内  
22ha(66,550坪)  
2008年取得

ミズナラ・トチ・シナノキの巨木の天然林。クマ痕跡多い。



⑫ 三重県大台町池ノ谷  
408ha(1,234,200坪)  
2010年取得

毎年、モリアオガエルの産卵時期になると突然現れる泉は県の天然記念物に指定されている。宮川の源流。

## 佐久間トラスト地ツアー報告！

2015年11月1日(日)、公益財団として初めてのトラスト地ツアーを静岡県浜松市佐久間トラスト地で開催し、20名の方々に参加いただきました。このトラスト地では、佐久間森林組合のみなさんが、静岡県の「森の力再生事業」を適用して、自然林化を進めてくださっており、群状間伐はじめ、列状間伐など、光がたくさん入るよう人工林を思い切って伐っておられます。広い面積を一気に間伐すると、早く自然林へ戻ります。このトラスト地での自然林再生事業は、モデル事業として静岡県下でも注目されているということです。

地元ボランティアの志村氏は、植え過ぎた針葉樹の人工林によって野生動物が生きられなくなっている状況に胸を痛めておられました。なんとか動物の棲める森を再生できないかと考え、チェーンソー講習を受けられて、仕事休みの日には、このトラスト地でボランティア間伐に励んでくださっています。ここが「動物たちの駆け込み寺」になればいいなと言われていました。間伐した場所にクリの木が育ってきたのを見て、活動の成果を実感されておられました。

8年前に列状間伐されたところでは、光が入ったことで、すでに3m以上に育った木もあり、自然の森が確実に戻りつつありました。平成25年に群状間伐した場所も見せて頂きましたが、きっと数年後には鳥や動物が運んできた種によって、自然の森が再生しつつあるはずですよ。

今後もこのようなトラスト地ツアーを企画していきますので、その折には、ぜひ、ご参加ください。

### <ツアー参加者の皆様の声>

- ★また数年後に訪れて、広葉樹が生えてきている所をみたい。
- ★大規模な間伐の現場を初めて見る事ができて、よかったです。
- ★身も心も蘇るようでした。本来、自然が与えてくれる森とは、かくも完璧な美しさに満ちたものなのか・・・！と驚くばかりです。
- ★道が整っていない場所を進んだので、下ばかり見てしまった。



↑8年前の列状間伐地  
森林組合中尾氏が解説



2年前の群状間伐地→

ご参加有難うございました！

